

2019 年
5 月号

NO.171



みんなでつくる子育てひろば

深川北みずべかわらばん



「 ありのままで 」

4 月の初旬ごろまで咲いていた桜も、春のさわやかな風によって飛んでいきました。森下公園には八重桜が鮮やかな桜色で公園を彩っています。みずべの玄関をあけると、吹いてくる風の中に5月の清々しい風を感じます。また、公園のみずみずしい緑も目に入って気持ちの良い季節ですね。

さて、深川北みずべでは、柴田愛子さん（「りんごの木」代表）を招き、年に一度講座を開いています。参加して下さったお母さん方は、笑ったり、泣いたり、大きくうなづいたりして「元気をもらいました。」「肩の荷が下りました」といって安心し、明日への子育ての力を得ていきます。

「子どもたちはべつに正しい子育てをしてくれるお母さんがすきなわけじゃないのです。」「こどもは、喜んだり、怒ったり、悲しんだりしているありのままのあなたが好きなのです。」「子育てに免許はいらない」と。柴田さんの著書に優しく語りかけられています。胸にぐっとくるあたたかい言葉です。改めて子どもも大人も互いに育て育ち合いながら歩いていくことを大事にしていきたいと思います。

山澤 美津子



ひととき通信

C君は汽車のおもちゃが大好きです。支援士さんと一緒にじっくりとレールをつなげて立派な線路を作り上げました。その素敵な線路を見つけたD君は、C君の線路を使いたくて側に近づいてきました。C君はその様子に気がつき、一瞬緊張した表情になりましたが、側にいる支援士さんがそっとC君の線路を守ってくれたことで、C君は安心してD君に別のレールを貸してあげる事ができました。D君もそのレール

を嬉しそうに受け取り、担当のスタッフと一緒に線路を作り始め楽しく遊ぶことができました。

保育の中で子どもたちは、お友達の遊びに興味をもって使っているおもちゃを取ってしまう姿や、おもちゃを貸せない姿がみられます。年齢や遊びの状況によっても様々ですが、ひととき保育ではそれぞれの子ども達の気持ちを受け止めて、お互いが楽しく遊べるような関りを大切にしていきたいと思っています。

（大塚 理恵）